

デュオハヤシ & 弘井俊雄

～ オール H.ヴィラ=ロボス プログラム ～



デュオハヤシ (林俊昭 : チェロ - 林由香子 : ピアノ)

弘井俊雄 (ギター)

プログラム (順不同)

チェロ
&
ピアノ

「黒鳥の歌」 O Canto do Cisne Negro

「小組曲」 Pequena Suíte

「前奏曲」 Prelúdio

「カプリッチョ」 Capricho

「ブラジル風バッハ」第5番より〈アリア〉

Bachianas Brasileiras N°5 Ária (Cantilena)

「ブラジル風バッハ」第2番より

第4楽章〈トッカータ : カイピラ(田舎)の小さな汽車〉

Bachianas Brasileiras N° 2 - IV Tocata (O Trenzinho do Caipira)

「前奏曲集」より 第1番, 第3番, 第5番

Prelúdios N°1, N°3, N°5

「ショーロス」第1番

Chôros N°1

「練習曲集」より 第1番, 第7番, 第12番

Estudos N°1, N°7, N°12

「ブラジル民衆組曲」より

〈マズルカ・ショーロ〉,

〈ショティシュ・ショーロ〉

Suíte Popular Brasileira: Mazurka-Chôro; Schottish-Chôro

ギター

トーク : 田所清克 企画プロデュース & 解説 : 畑由美子

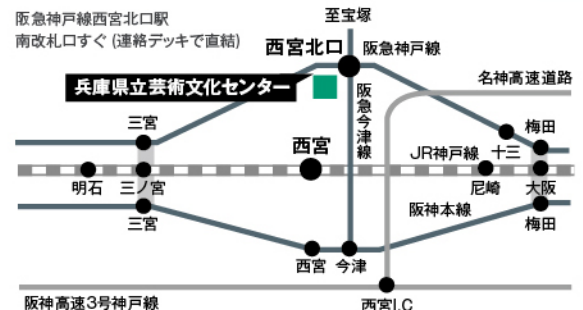
2014 5/31 兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

14:00 開演 (13:30 開場) 【チケット】一般 4,500円 (全席自由) ※未就学児の入場はご遠慮ください。

- 【お申込み & お問い合わせ】◆ 芸術文化センター チケットオフィス :
0798-68-0255 (10:00-17:00 ※月曜休 ※祝日の場合は翌日)
- ◆ ブラジルのクラシック音楽を聴く会 :
072-633-5517 / brazilianclassicalmusic@gmail.com

【主催】ブラジルのクラシック音楽を聴く会 <http://classicalmusic-brazil.com>

【後援】日本ヴィラ=ロボス協会 関西支部 / 財団法人 日伯協会 / ブラジル民族文化研究センター
大阪音楽大学同窓会 幸楽会 / 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)
(株) ヤマハミュージックリテイリング 千里店 / Seven Step Music
一般社団法人 宝塚メディア図書館 / 関西学院大学 サイエンス映像研究センター



デュオハヤシ (林俊昭:チェロ 林由香子:ピアノ)

DUO HAYASHI (Toshiaki HAYASHI : Cello - Yukako HAYASHI : Piano)

林俊昭は、青木十良氏に師事し、70年桐朋学園高校音楽科を卒業後、渡米。ボストン大学でナイクラッグ氏に学ぶ。林由香子は、桐朋学園高校、同大学で井口基成、高柳朗子、岡林千枝子の各氏に師事する。2人は73年からデュオとしての活動を始め、77年に渡欧。プリース、ナヴァラ、フルニエ、ヤニグロ等、世界的巨匠である各氏に師事。80年、ローマのサンタ・チェチリア音楽院室内楽科を満点で卒業後、イタリアを中心に60回余のコンサートなど活躍。2枚のCDがイタリア一流音楽誌より最高評としての5つ星を得る。その間、ミュンヘン国際、マリア・カナルス、トラツパニ国際、ヴィットリオ・グイ国際室内楽など、数多くの国際コンクールで優勝、入賞する。87年、林俊昭が大坂フィルハーモニー交響楽団首席チェリストとして就任(95年まで在籍)のために帰国。その後は室内楽の普及を目指し、メインの活動である「デュオハヤシリサイタル」の他に、イムジチやベニス合奏団のコンサート・マスターらを招いた室内楽シリーズ「デュオハヤシとイタリアの仲間たち」の全国公演を10回開催。大阪では、室内楽「隠れた名曲シリーズ」も第10回、東京での「デュオハヤシのとおき室内楽」は第14回を迎えた。帰国後これまでに5枚のCDをリリース、ヨーロッパ、アメリカへの演奏旅行も、15回以上行う。2011年にはイタリア・フェルモ市で、デュオハヤシのイタリアでの長年の活動を賞して「ジオルダニエロ賞」を授与される。03年からはイタリア・クーブラ国際夏期音楽祭で、チェロと室内楽のマスタークラスのレギュラー講師として招かれるなど、若い音楽家の育成にも力を注いでいる。また、日本では鳥取、出石、和歌山で「室内楽講習会」を20年にわたり主宰する。林俊昭は、東京藝術大学チェロ科講師を15年間、日本(大阪)センチュリーオーケストラ特別契約首席チェロ奏者を8年間務め、現在は徳島文理大学教授、名古屋音楽大学特別講師、紀尾井シンフォニエッタ東京、サワカルテットのメンバー。また01年、05年、10年の「1000人のチェロコンサート」ではコンサート・マスターを務めた。(05年の指揮者は、ロストロポーヴィチ氏)。13年、デュオハヤシは結成40周年を迎え、全国各地で記念演奏会を行うと共に9月にはチェロとピアノ、ヴァイオリンとピアノの二重奏のための「第1回デュオハヤシ国際コンクール」をイタリアのサンタ・ヴィットリア・イン・マテナーノ市で開催。

畑由美子 (企画プロデュース & 解説)

Yumiko HATA

ブラジルのクラシック音楽を聴く会代表。大阪音楽大学作曲学科楽理専攻卒業。ブラジルのクラシック音楽研究家(主にH.ヴィラ=ロボスを研究)及び楽曲解説者として、講演・執筆活動やコンサートの企画プロデュース等を行う。主な主催コンサートに「ブラジル移民100周年記念コンサート」(青山音楽記念館/京都/2008年)、「天才作曲家H.ヴィラ=ロボスからブラジルとの交流を開く」(兵庫県立芸術文化センター/2010年)、「H.ヴィラ=ロボスと山田耕柞」(同/2012年)がある。2008年「愛するブラジル 愛する日本 — ブラジル移民100周年・ブラジル民族文化研究センター創設30周年記念図書」(金壽堂出版)に「ブラジルの現代音楽を確立した作曲家H.ヴィラ=ロボス」を寄稿。2011年「ブラジルのクラシック音楽 — H.ヴィラ=ロボス」を金沢市開進堂にて講演。同年「音楽によってブラジルを再発見した楽壇の巨星 — エイトール・ヴィラ=ロボスの小伝」(京都外国語大学出版)を田所清克氏との共著で出版。また1998年よりさくらFM(78.7MHz)のクラシック音楽番組「気軽にクラシック」の楽曲解説を担当。2009年より宝塚メディア図書館クラシック音楽講座講師。日本ヴィラ=ロボス協会関西支部会員。

弘井俊雄 (ギター)

Toshio HIROI (Guitar)

ギターを故大西慶邦氏に学ぶ。「NHK新人オーディション」に合格。「第1回日本ギターコンクール」にて第2位入賞。その後渡欧し、イタリアで学ぶ。「第11回ミラノ国際ギターコンクール」金メダル受賞。1991年以降フランクフルト、ケルン等ドイツ主要都市およびイタリア・ミラノでリサイタルを開催。スペイン・グラナダでの「国際ギターフェスティバル」におけるアルハンブラ宮殿でのリサイタルはテレビで全国放送される。1996年、神戸新聞松方ホールオープン記念コンサートでソプラノの垣花洋子と共演する。2001年にはブルガリア国立室内オーケストラと「ギター協奏曲」を共演する。2006年、同ホール10周年記念コンサートでソロリサイタルを行う。その他、ローレンシャンカルテット(米)やニュージーランドカルテットのコンサートツアーにソリストとして参加するなど、国内外で活躍している。ヴィラ=ロボス演奏会への出演は、1987年神戸市立博物館でのヴィラ=ロボス生誕100周年記念コンサートでピアニストのM.プロエンサ(ブラジル)とヴィラ=ロボス「ギター協奏曲」の演奏をはじめ、没後30年での演奏会など多数出演している。フォンテック社からCD「プレリウド」(1992)や「ユニコーン」(2000)が発売されている。

田所清克 (トーク)

Kiyokatsu TADOKORO

京都外国語大学教授、ブラジル民族文化研究センター主幹、大阪府外国人相談コーナー顧問、日伯文化協会理事。京都外国語大学を経てブラジル国立フルミネンセ大学(リオ)大学院に2カ年国費留学後、京都外国語大学大学院終了。民族地理学を基盤に、ブラジルの社会や民族文化、文学の研究に従事。日本における屈指のブラジル専門家として活躍しており、ブラジル文学の翻訳も含めてブラジル関連の著書は100冊余りある。主な著書に『イラセマ』(彩流社/1998年)、『砂糖園の子』(彩流社/2000年)、『ブラジル学への誘い』(世界思想社/2001年)、『ブラジル北東部の風土と文学』(金壽堂出版/2006年)などがある。

ブラジルのクラシック音楽を聴く会 第4回コンサート

デュオハヤシ & 弘井俊雄 ~ オール H.ヴィラ=ロボス プログラム ~

2014年5月31日(土) 14:00 開演 (13:30 開場) 兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール